

# SLA通信

第25号

〒460-0024 名古屋市中区正木1-2-8  
(財)シニアルネサンス財団内  
Tel. 052 332 7883

## 全国一斉特設電話相談「シニアひとり暮らし110番」を開設

高齢社会の諸政策が、「高齢者も能力に応じた負担を分かち合う」という方向に動き、高齢者の自助自立が求められる中、9月29日(土)・30日(日)、全国6ヵ所にあるシニアライフアドバイザー協会で、「シニアひとり暮らし110番」が開設されました。中部シニアライフアドバイザー協会では、特設電話相談チームのメンバー17人が相談を担当、法的な判断を必要とする相談は、協会が要請した名古屋弁護士会の弁護士(両日各1名が相談室に待機)の支援を受けました。

開設中は、常設シニア電話相談室に設置をした2台の電話は鳴り続け、高齢社会の中で、いかに多くの高齢者たちが悩みを抱えているかを実感させられました。

10月1日から65歳以上の高齢者が支払う介護保険料が2倍の全額徴収に移行しました。「シニアひとり暮らし110番」は、その前日、前々日に開設されたため、「収入が少なく、保険料が家計を圧迫する」といった将来への不安を訴える声が多く寄せられ、同時に、高齢者に負担が大きい社会制度に対する抗議の声もありました。

その他、寄せられた相談は、からだや心の問題から経済の側面まで多種多様。中でも、中部圏では、成年後見制度、相続、住居に関する問合せや相談が多くありましたが、どの相談も、いくつかの問題が絡み合い、高齢者の苦悩の深さが伺えました。

しかし、これらの相談の中には、高齢社会の中で自助自立を求められた高齢者たちが、生きている限り、自分の望む生き方を模索するための相談も少なくなく、彼らの心意気も伝わってきました。

開設時期がタイムリーだったため、マスコミの関心度も高く、NHK・民放テレビ・ラジオ局・新聞の取材や情報掲載はもとより、「中日新聞」には、30日朝刊の社会面で、介護保険料に関する1面トップ記事の関連記事として取り上げられ、『『将来が不安』『家計ピンチ』特設110番、相談殺到』という、見出しの記事となって、紹介をされました。

相談を担当されたシニアライフアドバイザーの方々も研鑽を積み、弁護士の支援もあり、クライアントには、かなり質の高いアドバイスが出来たと思います。

すべてを総合して、電話相談としての社会的役割は果たせたといっているのではないのでしょうか。  
(文責/今泉治子)

全国一斉特設電話相談「シニアひとり暮らし110番」集計速報

協会所在地	仙 台	東 京	名 古 屋	大 阪	広 島	福 岡	計
受付人数	24	161	87	103	56	69	500

## 平成 13 年度 (上半期) 活動報告

4月22日	平成13年総会(高砂殿本店)
5月12日	第1回幹事会(新旧幹事引継ぎ)
	SLA 通信 24 号発行
6月2日	名北部会 例会 美々卯(松坂屋本店南館)
6月9日	第2回幹事会
6月26日	尾張部会 総会 施設見学 師勝町総合福祉センター もえの丘
7月8日	SLA のつどい 第1部 講演:生かしていこう私たちの生きがい 亀井省三氏 第2部 地域部会の活性化について考えるつどい 第3部 特設電話相談チーム立ち上げの集い
7月14日	第3回幹事会
7月21日	特設電話相談チーム初会合
7月27日	名北部会 アフタヌーンティーパーティ 講演と歌 大塚鎭子氏
8月11日	第4回幹事会 電話相談チーム打ち合わせ
8月18日	岐阜部会立ち上げ 岐阜木曾路
9月1日	第1回研修会 SLA 全体研修会 第1部 高齢者福祉のあらまし 名古屋市高齢福祉課 白井秀和氏 第2部 高齢者の直面するトラブル 名古屋弁護士会 弁護士 宮本曜爾氏
9月5日	電話相談実施に向けてマスコミへPR活動(渉外)
9月8日	第5回幹事会
	第2回研修会 特設電話相談チーム研修会
9月19日	岐阜部会 第2回会合
9月29日	全国一斉特設電話相談「シニアひとり暮らしの悩み110番」
9月30日	〃
10月7日	「シニアひとり暮らし110番」反省会 特設電話相談チーム
10月13日	第6回幹事会
	SLA 通信 25 号発行

## 平成 13 年度 (下半期) 活動予定

10月14日	名北部会例会 ザ・シーン徳川園
11月1日	尾張部会「たのし家」見学
11月10日	第7回幹事会(以後各月第2土曜日幹事会)
11月11日	創立7周年記念行事 創立記念のつどい(高砂殿本店)
平成14年	
2月2日	岐阜部会イベント
3月27~31日	シニアアートフェスティバル [SRクラブと共催]
3月	特設電話相談「定年退職前後の悩み110番」
4月	平成14年通常総会
	パソコン研修会①②(日程未定)

## 地域部会だより



### \*「たのし家」見学 ご案内 ☆尾張部会

日時 11月1日(木) AM11:00~PM2:30  
場所 「たのし家」 尾張旭市旭ヶ丘山の手1-21  
TEL 0561-53-2670  
会費 1,500円 (和食の予定)  
昼食後、見学施設に移動します。

集合 「尾張旭」 駅下車ロータリー前に AM11:00

①地下鉄栄駅下車 名鉄瀬戸線乗り換え 25分

②JR 大曾根駅下車 名鉄瀬戸線乗り換え 18分

申込み先 浅野澄子 TEL/FAX 0568-22-1487

田中芳雄 TEL/FAX 0586-62-8178

10月24日(水)まで

会員、一般を問わず多数の参加をお待ちしています。



### \* 部会再開のお知らせ ☆岐阜部会

活動を休んでいた岐阜部会が動き始めました。会員全員で応援しましょう。

#### ハートフルスクエアG参加について

このたび JR 岐阜駅高架下に、ハートフルスクエアGという岐阜市の生涯学習センター女性センターができ、その開催イベントとして自主講座を企画運営するグループの募集がありました。中部 SLA 協会が外に向けて発信するにはいい機会だと思い、参加の申込みをしました。他の参加グループは、10グループ程でみなボランティアグループです。岐阜部会のイベントへの参加は H13:2:2 [土] の午後を予定しています。

講座は①「役に立つ介護実習」②「リフォーム ファッションショー」と③面接相談「シニア女性、心の相談室」を予定しています。何分にも岐阜部会は人数が少なく有志4人でどうかここまでこぎつけました。再活動のためには、これを機会に当日のイベントだけで終わらせず、例えば「パソコン教室」、「心の相談室」等せめて週1回でも施設を借りて開設したいと考えていますが、これは岐阜部会だけではとても出来ません。会員皆様のご協力をお願いします。2月2日 [土] 名古屋駅からも10分あまりでここまで来られますので、ぜひ参加してください。今後のこと等も話し合いながら進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

岐阜部会 尾関恵子

### \* 活動報告

6月 2日 名北部会 例会 美々卯  
6月26日 尾張部会 総会と施設見学 師勝町総合福祉センター  
7月27日 名北部会 アフタヌーンティーパーティ  
SRクラブと共催 高砂駅前店



## 研 修 部 だ よ り

平成13年度も、早くも半分が過ぎようとしています。今年度は研修部としてどんな研修をしたら良いのか検討してきました。

第1回の研修(7月8日)は、SLA会員の亀井省三氏に「生かしていこう私達の生きがい」について語っていただきました。参加者は30名ほどでしたが、それぞれに今後の活動に何らかの答えが出たのではないのでしょうか。

第2回の研修(9月1日)は、電話相談「シニア一人暮らし悩み110番」の電話相談の研修と兼ねて開きました。

☆ 弁護士の宮本曜爾氏から、高齢者の抱える諸問題について

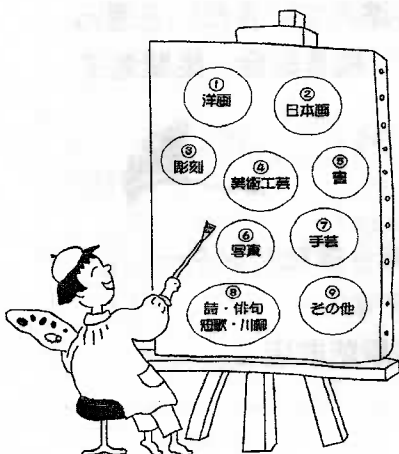
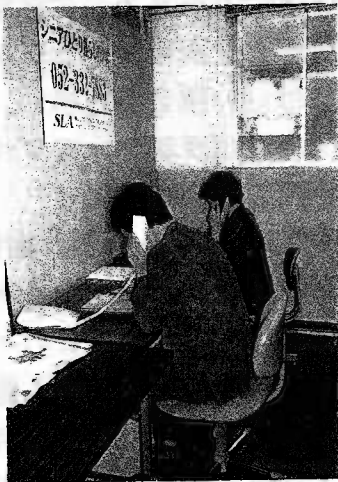
☆ 名古屋市健康福祉局の方から、名古屋市の知っておきたい福祉について講演していただき、活発な質疑応答がされました。電話相談に参加されない方もたくさん出席され研修ができたことは、成功であったと思っています。

## 特 設 電 話 相 談 チ ー ム

すでに通信24号の今泉会長の文面でも述べられていますが、特設電話相談をおもな活動とするチームが立ち上がっています。会員の皆さんに呼びかけ現在27名のメンバーによるチームです。通信25号発行の時には、すでに終わっていますが協会の活動である「シニアひとり暮らし110番」を幹事会の指揮のもとに相談員として活躍しました。

電話相談を核としていろいろな課題に取り組めたらと思うところです。

特設電話相談チーム 代表 大森政文



## 第6回 シニアアートフェスティバル

平成14年3月27日(水)～31日(日)

電気文化会館5F西ギャラリー

今回からSRクラブと共催で開催することになりました

作品出展は無料です

会員以外の方にも、どしどし参加をよびかけてください

詳しくは、チラシが同封してありますので、ご協力お願いします

# 和 わ 輪



バトンタッチをされた方は、次の号で SLA の仲間に  
バトンを渡してください〔原稿は 400 字程度〕  
気楽にリレーを楽しみましょう！

## 加藤 清さん から 福村正樹さんへ

ある日突然電話がかかり、「SLA の浅野です。加藤さん、次回発行の SLA 通信、わ・和・輪の原稿お願いしますネ・・・。」「エッ、あの、その、は、そうですか、わかりました。」以上のような事で、今この文を書いているところです。気楽にしゃべれるのも同期生のよしみか。

「知音」(ちいん)という言葉があります。昔、中国に伯牙<sup>はくが</sup>という琴の名手がいた。彼の琴の音をよく聴き分けた親友の鐘子<sup>しょうし</sup>期が死んだ時、伯牙は琴の弦を断って二度と弾かなかったという。『列子』にあるこの故事から、親友のことを「知音」、親しい友情を「断琴の交わり」・知己を失うことを「琴の緒絶ゆ」などという表現が生まれたそうではありますが、さすがは文字の国、実に奥ゆかしいものだと感心しております。さて、次号へのバトンは初代会長として大変ご苦勞された福村正樹さんをお願いします。

## 金田勘治郎さん から 青井久子さんへ

私の最近では、協会の諸活動にも欠席が多く、大変申し訳なく恐縮している折、この投稿枠を戴きました。これと言って文書にする資料はありませんが、思いつきのまますを綴らせて戴きます。

協会より送って下さる会報の通信欄は、大変懐かしく感ずるところも多く、役員の方々の努力で、この時代に沿った活躍を中心に、大変な成果をあげつつ、健全な協会になって来ているのではないかと感じております。自分たちの置かれた立場、役目等を再確認し、協会で、計画される研修会の勉強会を重ね、資質の向上を計り、時代の変革にもある程度対応できるボランティアになりたいものです。会員一同が一つの方向に目を向け、一人でも多くの人々の杖となり、援助者となれる事を願っています。

最後になりましたが私の近況を少し報告させていただきます。ちょうど昨年九月、東海市教育委員会から、お話を戴き、高齢者大学の講師として市内の市民館や文化会館等数ヶ所で高齢者の皆さんと、二時間づつを務めてまいりました。この事は私には大変な勉強になりました。又、いろいろな分野での反省をする事もできました。その体験等がきっかけで、〔財〕実務教育研究所の通信教育に挑戦、半年です。老年期も最中ですが、会員の皆様とともに元気で過ごすことを願っています。私からのバトンタッチは、青井久子さんです。よろしく申し上げます。

# わ 輪 和

## 大森政文さん から 佐藤勝人さんへ

たぶん、ここに書きとめるテレビの放送を見られた方もあると思います。先日、料理研究家の辰巳芳子さん（私は今回はじめて名前を知りました）が番組の話の中で、ある地域でその時生きるための食べ物はそれしかなかった、しかし長い時間を経る中で人々は工夫しそして今は、それがおいしい料理のひとつとして食べられている、そんな内容でした。しかし世界の中では、この料理が無くて他に食べ物はいくらでもある人たちと共に、やはり依然として、それしか他に無い人々も大勢ある現状です。

ニューヨークで起こった悲惨な事件に巻き込まれた数千の人々があります。選んだ生ではなかったはずです。またこのことにより難民を選ぶ道しかない人もある。それしかない生……無残な人類社会、耐え難い日々です。次のバトンは佐藤勝人さんよろしく！



### 「創立記念のつどい」のお知らせ

11月11日〔日〕AM:11時~PM:2時 高砂殿本店

親睦食事会とミニコンサート

当日は、地域部会協力による懇親バザーを開きます。作品の提供をお願いしますと共にたくさんのご参加をお待ちします。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

会員名簿 (H13. 4. 1作成) お詫びと訂正  
間違いがありましたのでお詫びして訂正します  
5ページ: 5期生 N0522 河合 枉子⇒枉子

### 編集後記

幹事一同、4月から半年いろいろな行事や活動をこなし、ボランティア精神でがんばっています。  
また、11月には創立記念のつどいを開くために、その準備に追われています。この苦勞が癒されるのは、皆さんの協力と熱意です。たくさん参加して盛り立ててください。[K]

# SLA

●シニアの生き生きライフを支援する  
中部シニアライフアドバイザー協会